



NHK 詳細分析

2026-05-04_radio_news_2200

放送: 2026-05-04 | 分析日: 2026-05-13 15:21

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

4.4/10

顕著な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による学術調査です。各政党は0 (極左) から10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

6.2 / 10

右派寄り

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選定

7/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：小泉防衛大臣（政府高官）

タイムスタンプ：01:36

発言：「インドネシアは我が国のシーレーンの要所に位置する戦略的に重要な国であり、防衛面での協力強化が不可欠なパートナーだ。防衛装備、技術協力を具体的に推進したい」

位置づけ：LDP所属の現職防衛大臣。当該政策の立案・推進者であり、政策の正当性について構造的利益相反を有する。

欠落している対抗意見：野党防衛政策担当者、憲法学者、安全保障研究者（批判的立場）

情報源深度チェック：

(a) 資金調達：国家予算（税金）。防衛省・LDP政権の政策推進者として、防衛協力強化に直接的な政治的利益を有する。

(b) 委任：防衛大臣としての職務は防衛政策の推進であり、中立的評価とは構造的に相容れない。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：

D1 利益相反：-2 — 当該政策の推進者として直接的利益相反

D2 個人的リスク：-1 — 政策失敗時の政治的リスクはあるが、発言内容は政策推進に沿っており個人的リスクは低い

D3 専門的能力：+1 — 防衛大臣として政策情報へのアクセスは高いが、客観的分析者ではない

D4 意見の一貫性：0 — 就任後の一貫した政策推進発言であり、独立的検証困難

D5 感情化対データ：-1 — 「不可欠」「重要」等の評価語が多く、具体的データ・根拠の提示なし

D6 情報源レベル：+1 — 一次情報源（当事者）だが、客観性は低い

・ 合計：-2 → 情報源信号機：黄色（GELB）

(c) 専門能力: 政府高官の発言が「専門家見解」として中立的に枠組みされており、これは技術12（情報源選定）の問題に該当する。「大臣が述べた」という事実報告は適切だが、対抗意見なしの単独引用は構造的偏向を生む。

欠落している専門家グループ：

- ・ 憲法学者（武器輸出と憲法9条・専守防衛の整合性）
- ・ 独立系安全保障研究者（地域安定リスク分析）
- ・ 国際人道法専門家（武器輸出規制の国際基準）

まとめ（マトリクス結果）：

- ・ 小泉防衛大臣：情報源信号機黄色（合計-2） — 政策推進者として構造的利益相反あり、対抗意見なしの単独引用は放送法第4条の多角的論点提示要件に反する

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選定

7/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源1：小泉防衛大臣（記者団への発言）

タイムスタンプ：01:36 — 発言：「インドネシアは我が国のシーレーンの要所に位置する戦略的に重要な国であり、防衛面での協力強化が不可欠なパートナーだ」

(a) 資金調達と運営主体：国家予算（防衛省）。LDP政権の政策推進者。

(b) 構造的利益相反：防衛装備輸出解禁の推進者として、政策の正当性を主張することに直接的政治的利益を有する。

(c) 欠落している対抗情報源：野党防衛政策担当者、独立系安全保障研究者、憲法学者

欠落している対抗情報源：CDP・JCP等の野党議員、独立系安全保障研究者

情報源2：ロシア国防省（SNS発表）

タイムスタンプ：02:07 — 発言：「3日夜から4日朝にかけて、ウクライナの無人機が首都モスクワや中部リャザン州など各地に飛来し、合わせて117機を迎撃したと発表しました」

(a) 資金調達と運営主体：ロシア連邦政府。交戦当事国の公式機関。

(b) 構造的利益相反：交戦当事国として、防空能力の誇示・被害の最小化・国内世論の管理に直接的利益を有する。

(c) 欠落している対抗情報源：ウクライナ政府発表、独立系戦況分析機関（ISW等）、独立系ロシア報道機関

情報源3：モスクワ市長（SNS発表）

タイムスタンプ：02:22 — 発言：「無人機2機を迎撃したと明らかにするとともに、初期段階の情報として、けが人はいないと発表しました」

(a) 資金調達と運営主体：ロシア連邦・モスクワ市政府。

(b) 構造的利益相反：ロシア政府系行政官として、被害の最小化・市民の安心確保に政治的利益を有する。

(c) 欠落している対抗情報源：独立系検証機関、ウクライナ側発表

まとめ：防衛協力報道では政府側（LDP）のみが情報源として使用され、ウクライナ紛争報道ではロシア政府系機関の発表が独立した検証なしに引用されている。情報源の多様性・独立性が著しく欠如しており、放送法第4条の多角的論点提示要件に反する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 時間配分

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間配分。

推定発言時間：

- 小泉防衛大臣（政府・LDP）：約17秒（01:36～01:53）、全体の約6%
- シャフリール国防相（インドネシア政府）：直接引用なし（「歓迎する意向を示した」と間接報告のみ）
- モスクワ近隣住民（一般市民）：約6秒（02:49～02:58）、約2%
- 花巻市の父親（一般市民）：約5秒（04:31～04:37）、約2%
- キャスター（NHK）：約4分18秒（全体の約90%）
- 批判的立場・野党・専門家：0秒（0%）

まとめ：発言時間の約90%をキャスターが占め、政府側の立場（小泉大臣）のみが直接引用される一方、批判的立場・野党・独立専門家への発言機会は皆無。ニュース速報の形式的制約を考慮しても、政府発表の一方的伝達という構造は放送法第4条の多角的論点提示要件に照らして問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

8/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず何が示されていないか？ (第0ステップを参照)

省略1：

文脈：野党・市民社会の批判的立場

関連タイムスタンプ：00:04～01:54 (防衛協力報道全体)

効果：防衛装備輸出解禁に対する国内の政治的対立・憲法論争が存在しないかのような印象を与える。CDP・JCP・れいわ等の野党は明確な反対立場を持つが、一切言及されない。

省略2：

文脈：五類型の具体的内容と問題点

関連タイムスタンプ：00:37 「いわゆる五類型を手配し」

効果：「五類型」という専門用語が説明なしに使用されることで、視聴者は政策の具体的内容・問題点を理解できず、批判的判断の基盤が奪われる。

省略3：

文脈：インドネシアへの武器輸出が地域安定・人権に与えるリスク

関連タイムスタンプ：00:46～01:32 (作業チーム設置・文書署名の報道)

効果：インドネシアの民主主義的統制・人権状況・地域紛争リスクへの言及がなく、武器輸出の潜在的負の影響が完全に不可視化される。

まとめ：防衛装備輸出という高度に争点性の高い政策について、批判的視点・対立軸・リスク情報が体系的に省略されており、政府の政策広報と実質的に区別がつかない報道構造となっている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5. 数値操作

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的・誤解を招く使用。

所見1：

タイムスタンプ：02:15

数値：「合わせて117機を迎撃した」

欠落している文脈：この数値はロシア国防省の発表であり、独立した検証が不可能。迎撃成功率・実際の被害規模・ウクライナ側の発表との比較が欠落している。

効果：ロシア政府の発表数値が検証なしに事実として報道されることで、ロシアの防空能力の高さという印象が形成される可能性がある。

所見2：

タイムスタンプ：03:45～03:53

数値：「生後半年から1歳半までの子どもおよそ600人が参加します」

欠落している文脈：この数値は文脈上問題なく、操作的使用は確認されない。

まとめ：ロシア国防省発表の迎撃数（117機）が独立した検証なしに引用されており、情報源の信頼性に関する留保表現が不十分。ただし、本放送全体における数値操作の程度は限定的。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 連座による信用失墜 (連座制)

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的集団・思想との関連付けによる信用失墜。

所見1：

タイムスタンプ：03:08

引用：「旧ソビエトがナチスドイツに勝利したことを祝う戦勝顕微で」

技術：「ナチスドイツ」という極めて否定的な歴史的参照を用いることで、ロシアの戦勝記念日の文脈を「反ナチズム」の正当な歴史的勝利として暗黙に枠組みしている。

効果：現在のロシアによるウクライナ侵攻という文脈において、この歴史的枠組みがロシアの自己正当化言説と構造的に類似する可能性があるが、その批判的検討はなされていない。

まとめ：明示的な連座による信用失墜の技術は本放送では確認されない。ただし、ロシアの戦勝記念日の説明において、現在の政治的文脈への批判的言及なしに歴史的正当性の枠組みが使用されている点は軽微な問題として記録する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見1：

位置：00:00～01:54（冒頭・第一ニュース）

内容：「日本の防衛装備輸出解禁・インドネシアとの防衛協力強化」

タイミング効果：最も重要な政治的議題が冒頭に配置されることで、視聴者の注意が最も高い時間帯に政府の政策成果が提示される。批判的視点なしの冒頭配置は、政策の正当性を最初の印象として定着させる効果を持つ。

所見2：

位置：03:22～04:42（末尾・第三ニュース）

内容：「花巻市の泣き相撲」

タイミング効果：伝統行事の微笑ましい映像を末尾に配置することで、放送全体が温かい印象で締めくくられる。これは視聴者の感情的状態を好転させ、冒頭の政治的議題への批判的思考を和らげる効果（感情的緩衝）を持つ可能性がある。

まとめ：政府の政策成果を冒頭に、微笑ましい伝統行事を末尾に配置する構成は、批判的思考を促す構造ではなく、政府発表を好意的な感情的文脈で包む効果を持つ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨と、比較可能な他の立場への無反応の非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に誘発事象を記録すること。反応が選択的と評価できるのは、他の立場における比較可能な誘発事象が類似の反応を生まなかった場合のみ。

所見1：

タイムスタンプ：02:00～03:16（ウクライナ無人機攻撃報道）

誘発事象：ウクライナによるモスクワへの無人機攻撃（民間建物への被害）

反応：「高層アパートに被害が出ました」「道行く人々が心配そうに見上げていました」という被害描写

比較：ロシアによるウクライナへの攻撃（同時期に継続中）への言及：なし

非対称性：ロシア側の被害は具体的に描写されているが、ロシアによるウクライナへの継続的攻撃への言及がない。ただし、本放送の当該ニュースはモスクワ攻撃を主題とするものであり、全ての関連事象を同一ニュース内で扱う義務はない。非対称性は部分的に確認されるが、ニュース速報の形式的制約を考慮すると決定的とは言えない。

まとめ：明示的な選択的憤慨の技術は本放送では限定的。ただし、ロシア側被害の具体的描写とウクライナ側被害への言及欠落という非対称性は、視覚的・感情的文脈において軽微な偏向を生む可能性がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								8/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのような基本的枠組みで提示されているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:10

引用：「日本が左相能力のある武器の輸出を原則可能としたことを受けて」

操作：「原則可能」という表現により、武器輸出解禁が既成事実・既定路線として枠組みされている。

問題点：この政策変更は国内で深刻な憲法論争を引き起こしており、「可能となった」という中立的事実報告の形式が、政策の正当性を暗黙に前提とするフレームを形成している。

所見2：

タイムスタンプ：01:43

引用：「インドネシアは我が国のシーレーンの要所に位置する戦略的に重要な国であり、防衛面での協力強化が不可欠なパートナーだ」

操作：小泉大臣の発言が検証なしにそのまま放送され、「不可欠」という価値判断が事実として枠組みされている。

問題点：「不可欠」という規範的判断は政府の立場であり、これを反論なしに放送することで、防衛協力強化の必要性が自明の前提として視聴者に刷り込まれる。

所見3：

タイムスタンプ：00:04～01:54

引用：(第一ニュース全体の構成)

操作：防衛協力強化の報道全体が「合意・署名・推進」という成果フレームで一貫して構成されており、懸念・批判・代替案の枠組みが構造的に排除されている。

問題点：政府の政策発表をそのまま「成果」として報道する構造は、広報機能と報道機能の混同を招き、放送法第4条が求める多角的論点提示に反する。

まとめ：防衛装備輸出という高度に争点性の高い政策が、政府の成果発表として一方向的に枠組みされており、批判的・対抗的フレームが体系的に排除されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:37

引用：「いわゆる五類型を手配し」

操作：「いわゆる」という留保表現が使用されているが、五類型の内容・問題点の説明は一切なく、専門用語が説明なしに使用されている。

問題点：中立的代替表現は「政府が定めた五つの類型に基づき」等であり、「いわゆる」という表現は内容の批判的検討なしに用語を既成概念として定着させる効果を持つ。

所見2：

タイムスタンプ：01:43

引用：「戦略的に重要な国」「不可欠なパートナー」

操作：政府の価値判断を含む表現が、キャスターによる事実報告と区別されずに放送されている。

問題点：「戦略的に重要」「不可欠」は政府の政策的立場を反映した評価語であり、これらを検証なしに放送することで、政府の世界観が中立的事実として提示される。

所見3：

タイムスタンプ：03:08

引用：「旧ソビエトがナチスドイツに勝利したことを祝う戦勝顕微で」

操作：「戦勝記念日」を「ナチスドイツに勝利したことを祝う」と説明することで、ロシアの歴史的正当性の枠組みを（意図せずとも）補強している。

問題点：現在のロシアがこの記念日を国内プロパガンダに利用している文脈への言及がなく、歴史的事実の説明が現在の政治的文脈から切り離されている。

まとめ：政府の政策的価値判断を含む表現が事実報告と混在しており、用語の批判的検討が欠落している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問・割り込み・共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に誘発事象を記録すること。介入が非対称と評価できるのは、他のゲストにおける比較可能な誘発事象が類似の介入を生まなかった場合のみ。

所見1：

タイムスタンプ：00:04～04:46

誘発事象：本放送はスタジオゲストを伴うトーク番組ではなく、キャスターによるニュース速報形式であるため、司会者による質問・割り込み・共感表明という形式の介入は構造的に発生しない。

引用（キャスター）：「この後小泉大臣は記者団に対し...と述べました」

比較：他のゲストへの類似介入：該当なし（ゲスト形式ではない）

非対称性：確認不可 — ニュース速報形式においては、司会者の介入非対称性を評価する方法論的基盤が存在しない。ただし、政府発表を検証なしに伝達するキャスターの報道姿勢自体は、第1・第4基準（フレーミング・省略）として評価済み。

まとめ：本放送はゲスト出演形式ではないため、司会者の介入非対称性は方法論的に評価不可能。ただし、政府発表の無批判的伝達という構造的問題は他の基準で記録されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

非対称性1：

本放送はニュース速報形式であり、キャスターが出演者に直接質問する形式ではない。小泉大臣の発言は「記者団に対し述べた」内容の引用であり、NHKキャスターによる直接インタビューではない。したがって、質問の硬軟を比較評価する方法論的基盤は存在しない。

ただし、構造的な問題として：

- 政府発表（小泉大臣発言）：検証・反論なしに引用
- 批判的立場：質問の機会自体が与えられていない
- この非対称性は質問形式の問題ではなく、情報源選定（基準3・12）および省略（基準4）の問題として評価済み

まとめ：ニュース速報形式のため質問の硬軟比較は方法論的に不可能だが、政府発表の無検証引用と批判的立場の完全排除という構造的な非対称性は他の基準で記録されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見1：

タイムスタンプ：02:07～02:30

構成：ロシア国防省発表（117機迎撃）とモスクワ市長発表（2機迎撃、けが人なし）が並列して引用されている。

分析：両者はいずれもロシア政府系機関の発表であり、「複数の情報源を引用した」という形式的均衡が、実質的にはロシア政府の立場のみを反映している。ウクライナ側の発表・独立系検証機関の見解が欠落しており、形式的多様性が実質的一方向性を隠蔽している。

まとめ：本放送において古典的な偽りの均衡（科学的コンセンサスと少数意見の同等扱い等）は確認されない。ただし、ロシア政府系機関の複数発表を並列引用することで形式的均衡を演出しつつ、実質的にはロシア側の立場のみを反映するという構造的問題が確認される。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見1：

設定されたアジェンダ要素：防衛装備輸出解禁は既定路線であり、インドネシアとの防衛協力強化は「自然な次のステップ」として自明視されている。

タイムスタンプ：00:10 — 根拠：「日本が左相能力のある武器の輸出を原則可能としたことを受けて」

代替アジェンダ：この政策変更が日本の平和主義・専守防衛原則に与える影響、国内の政治的対立、憲法の問題点

所見2：

設定されたアジェンダ要素：日本の安全保障政策の強化は「シーレーン防衛」という地政学的必要性から自明に正当化される。

タイムスタンプ：01:43 — 根拠：「インドネシアは我が国のシーレーンの要所に位置する戦略的に重要な国」

代替アジェンダ：外交的解決・多国間協力・非軍事的安全保障手段の可能性

所見3：

設定されたアジェンダ要素：ウクライナ紛争はロシア側の被害（モスクワへの攻撃）という視点から報道される。

タイムスタンプ：01:56～03:16 — 根拠：（ウクライナ攻撃報道全体の構成）

代替アジェンダ：ロシアによるウクライナへの継続的攻撃、停戦交渉の現状、国際社会の対応

まとめ：防衛装備輸出解禁と防衛協力強化が自明の政策として枠組みされ、これに対する批判的・代替的アジェンダが体系的に排除されている。アジェンダ設定において政府の政策的優先事項が無批判に採用されている。

第2ステップ — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見（1文）
1	フレーミング	6	防衛装備輸出解禁が政府の成果として一方向的に枠組みされ、批判的フレームが体系的に排除されている
2	言葉の選択と用語	5	政府の価値判断を含む表現（「不可欠」「戦略的に重要」）が事実報告と混在している
3	専門家の選定	7	政策推進者（小泉大臣）のみが情報源として使用され、批判的専門家・野党が完全に排除されている
4	省略	8	野党の批判・憲法の問題点・武器輸出リスクが体系的に省略されている

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5	司会者の行動	2	ニュース速報形式のため介入非対称性は方法論的に評価不可能
6	時間配分	5	批判的立場への発言時間がゼロで、政府側のみが直接引用されている
7	質問の非対称性	2	ニュース速報形式のため質問比較は方法論的に不可能だが、構造的非対称性は他基準で記録済み
8	連座による信用失墜	1	明示的な連座技術は確認されない
9	数値操作	3	ロシア国防省発表の迎撃数が独立した検証なしに引用されている
10	タイミング	4	政府の政策成果を冒頭に、微笑ましい伝統行事を末尾に配置する感情的構成
11	映像選択	3	ロシア側被害映像の単独使用とウクライナ側被害との非対称な提示
12	情報源の選定	7	防衛協力報道では政府側のみ、ウクライナ報道ではロシア政府系機関のみが情報源として使用されている
13	選択的憤慨	1	明示的な選択的憤慨は限定的
14	偽りの均衡	2	ロシア政府系機関の複数発表を並列引用することで形式的均衡を演出している
15	アジェンダ設定	6	防衛装備輸出解禁が自明の政策として枠組みされ、批判的アジェンダが体系的に排除されている

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：4.1 / 10
- 完全性スコア：2.0 / 10
- 複合スコア：3.5 / 10（基準70%+完全性30%： $4.1 \times 0.7 + 2.0 \times 0.3 = 2.87 + 0.60 = 3.47$ 、四捨五入3.5）

支配的技術

本放送における最も強力な3つの技術：

1. 省略（スコア8）：防衛装備輸出解禁という高度に争点性の高い政策について、野党の批判・憲法的問題点・武器輸出リスクが体系的に省略されており、政府の政策広報と実質的に区別がつかない報道構造となっている。放送法第4条が求める多角的論点提示の要件に最も深刻に反する技術。
2. 専門家・情報源の選定（スコア7）：防衛協力報道では政策推進者（小泉大臣）のみが情報源として使用され、批判的専門家・野党・独立系研究者が完全に排除されている。情報源の構造的偏向が放送全体の一方向性を規定している。
3. フレーミング・アジェンダ設定（スコア各6）：防衛装備輸出解禁が既定路線・自明の政策として枠組みされ、これに対する批判的・代替的フレームが体系的に排除されている。政府の政策的優先事項がアジェンダとして無批判に採用されている。

放送の核心的メッセージ

メッセージ1（内容的）：「日本の防衛装備輸出解禁とインドネシアとの防衛協力強化は、シーレーン防衛という地政学的必要性から正当かつ自明な政策である」

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



技術：フレーミング・アジェンダ設定 — 根拠：00:10、01:43

メッセージ2（個人的）：「小泉防衛大臣は有能な外交官として防衛協力を着実に推進している」

技術：情報源選定・省略（対抗意見なしの単独引用） — 根拠：01:36～01:53

メッセージ3（社会的）：「日本の安全保障政策の強化は国際社会から歓迎されており、国内の政治的対立は存在しない」

技術：省略・アジェンダ設定 — 根拠：00:46（「歓迎する意向を示した」）、野党言及なし

操作度の分類

- 均衡ある報道（0～2）
- 軽微な傾向（3～4）
- 明確な一方向性（5～6）
- 体系的な偏向（7～8）
- 極端な偏向（9～10）

理由：複合スコア3.5は「軽微な傾向」の範囲に位置するが、完全性スコア2.0という著しく低い値は、放送法第4条第3号（政治的に公平であること）および第4号（意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること）の要件に照らして深刻な問題を示している。約5分という短尺ニュースの形式的制約を考慮しても、防衛装備輸出という高度に争点性の高い政策について批判的視点が皆無である点は、単なる時間的制約では説明できない構造的偏向を示唆する。個別基準スコアの平均（4.1）は中程度の操作度を示すが、省略・情報源選定・フレーミングの組み合わせが相乗的に機能している点に注意が必要である。

結論

本放送は、防衛装備輸出解禁・インドネシアとの防衛協力強化という高度に争点性の高い政策を、政府の成果発表として一方向的に報道しており、放送法第4条第4号が求める「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」の要件を充足していない。野党の批判的立場・憲法学的問題点・武器輸出リスクが体系的に省略され、政策推進者（小泉大臣）のみが情報源として使用されている点は、公共放送の報道機能と政府広報機能の混同を示唆する。ウクライナ紛争報道においても、ロシア政府系機関の発表が独立した検証なしに引用されており、情報源の多様性・独立性が欠如している。約5分という短尺ニュースの形式的制約を考慮しても、最低限の対立軸提示・批判的視点の導入は可能であり、その欠落は放送法第4条の要請に照らして問題がある。

第3ステップ — 政党政治的バイアス

政党別スコア

政党	スコア (-5～+5)	放送での描写对党綱領上の立場
LDP（自民党）	+2	00:10～01:53「防衛装備輸出解禁・防衛協力強化」 — 党綱領：防衛費2%・反撃能力・武器輸出推進 — 正確かつ好意的に描写。ただし批判なし。
CDP（立憲民主党）	0	言及なし — 党綱領：憲法9条改正反対・防衛装備輸出慎重 — 完全に省略（スコア0は「言及なし」を意味する）
公明党（Komeito）	0	言及なし — 党綱領：平和主義・LDP連立内での抑制的役割 — 完全に省略

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



維新の会 (Ishin)	0	言及なし — 党綱領：防衛強化・規制緩和 — 完全に省略
共産党 (JCP)	0	言及なし — 党綱領：憲法9条堅持・武器輸出反対 — 完全に省略
国民民主党 (DPP)	0	言及なし — 党綱領：穏健防衛・実用主義 — 完全に省略

スコア凡例：

+5=党綱領が正確かつ完全に描写 / 0=党・テーマが放送に登場しない / -5=党綱領が積極的に歪曲または誤って描写

政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：LDP (スコア+2) — 防衛装備輸出解禁という党の政策が正確に、かつ批判なしに報道された
- 最も強い歪曲：CDP・JCP (スコア0) — 防衛装備輸出に明確な反対立場を持つ野党が完全に省略されており、実質的な歪曲効果を生んでいる
- 平均偏差 (0からの)：0.3 (LDPのみ+2、他は全て0)
- 結論：LDPの政策が批判なしに報道される一方、同政策に反対する野党 (CDP・JCP・れいわ等) が完全に省略されており、政党間の描写に構造的非対称性が存在する。これは積極的な歪曲ではなく、選択的省略による実質的偏向である。

左右全体的傾向

傾向スコア：-1.2

(正值=左派優遇、負値=右派優遇、0.0=均衡)

分類：右派優遇

理由：防衛装備輸出解禁・防衛協力強化というLDP (右派7.0) の核心的政策が批判なしに報道され、同政策に反対する左派～中道左派野党 (CDP3.5・JCP1.5・れいわ2.5) が完全に省略されている。フレーミング・アジェンダ設定においても政府 (LDP) の政策的優先事項が自明の前提として採用されており、放送全体の傾向は右派優遇と評価される。ただし、傾向スコア-1.2は「強い右派優遇」ではなく「軽微～中程度の右派優遇」の範囲であり、これは主に短尺ニュース形式の制約によるものと考えられる。

第4ステップ — 法的評価 (放送法第4条)

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平 (第2号)、報道の正確性 (第1号)、および多角的な論点の提示 (第4号) を放送事業者に義務付けている。

違反1：

規範：放送法第4条第4号 (「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」)

事実：防衛装備輸出解禁・インドネシアとの防衛協力強化という高度に争点性の高い政策について、政府側 (小泉大臣) の立場のみが報道され、野党・憲法学者・独立系専門家の批判的立場が一切取り上げられなかった。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



根拠：タイムスタンプ00:04～01:54 — 引用：「防衛装備、技術協力を具体的に推進したい」（小泉大臣）

評価：防衛装備輸出解禁は国内で深刻な政治的対立を生んでいる「意見が対立している問題」であり、「できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」の要件を充足していない。

違反2：

規範：放送法第4条第2号（「政治的に公平であること」）

事実：LDP（与党）の政策が批判なしに報道される一方、同政策に反対する野党（CDP・JCP・れいわ等）が完全に省略されており、政党間の報道に構造的非対称性が存在する。

根拠：タイムスタンプ00:04～01:54（LDP政策の報道）、野党言及：なし

評価：政治的公平の要件は、与党の政策発表に対して野党の立場を全く取り上げないことと両立しない。

違反3：

規範：放送法第4条第1号（「公安及び善良な風俗を害しないこと」）および第3号（「報道は事実をまげないですること」）

事実：ロシア国防省・モスクワ市長という交戦当事国の政府系機関の発表が、独立した検証・留保表現なしに事実として報道された。

根拠：タイムスタンプ02:07 — 引用：「合わせて117機を迎撃したと発表しました」

評価：交戦当事国の政府発表を独立した検証なしに引用することは、「報道は事実をまげないですること」の要件に照らして問題がある。「発表しました」という留保表現は使用されているが、情報源の信頼性・利益相反に関する説明が欠落している。

放送法第4条総合評価

本放送は、防衛装備輸出解禁という「意見が対立している問題」について、放送法第4条第4号が求める多角的論点提示を充足していない。政府側（LDP）の立場のみが報道され、野党・批判的専門家の視点が体系的に省略されている点は、第2号（政治的公平）の要件にも抵触する可能性がある。ウクライナ紛争報道においては、交戦当事国の政府系機関の発表が独立した検証なしに引用されており、第3号（事実の正確な報道）の観点からも改善の余地がある。ただし、約5分という短尺ニュース速報の形式的制約を考慮すると、これらの問題が放送法違反として法的に確定されるためには、単一放送回ではなく継続的な報道パターンでの検証が必要であり、総務省の行政指導・勧告の対象となるためには複数回にわたる体系的偏向の立証が求められる。

情報源深度チェック（引用された全専門機関・NGO・相談機関対象）

本放送において引用された主要情報源の深度チェック：

情報源1：ロシア国防省

- 資金調達：ロシア連邦政府（国家予算）。交戦当事国の軍事機関。
 - 委任：軍事作戦の遂行・国内外への情報発信が任務。中立的評価とは構造的に相容れない。
 - 利益相反：防空能力の誇示・被害の最小化・国内世論の管理に直接的利益を有する。
 - 信頼性マトリクス（6次元）：
 - D1 利益相反：-2 — 交戦当事国として直接的利益相反
 - D2 個人的リスク：-2 — 発表内容は政府方針に沿っており個人的リスクなし
 - D3 専門的能力：+1 — 軍事情報へのアクセスは高いが客観性は低い
 - D4 意見の一貫性：-1 — 戦況に応じて発表内容が変化する傾向
 - D5 感情化対データ：-1 — 具体的数値を使用するが検証不可能
 - D6 情報源レベル：0 — 一次情報源だが当事者（客観性低）
- ・ 合計：-5 → 情報源信号機：赤（ROT）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

5. 対抗情報源：ISW（戦争研究所）、ウクライナ政府発表、独立系ロシア報道機関（Meduza等）— いずれも引用なし

情報源2：モスクワ市長（SNS発表）

1. 資金調達：ロシア連邦・モスクワ市政府。
 2. 委任：市政運営・市民への情報提供。政府系行政官。
 3. 利益相反：被害の最小化・市民の安心確保・政府への忠誠に政治的利益を有する。
 4. 信頼性マトリクス（6次元）：
 - D1 利益相反：-2 — ロシア政府系行政官として直接的利益相反
 - D2 個人的リスク：-2 — 政府方針に沿った発言であり個人的リスクなし
 - D3 専門的能力：0 — 市政情報へのアクセスはあるが軍事的専門性は低い
 - D4 意見の一貫性：-1 — 政府方針に従った一貫した発言
 - D5 感情化対データ：0 — 事実に基づく記述だが検証不可能
 - D6 情報源レベル：0 — 一次情報源だが当事者
- 合計：-5 → 情報源信号機：赤（ROT）

5. 対抗情報源：独立系検証機関、ウクライナ側発表 — いずれも引用なし

重要注記：「発表しました」という留保表現は使用されているが、情報源の信頼性・利益相反に関する説明が欠落しており、視聴者が情報源の信頼性を独立して評価するための基盤が提供されていない。公共放送として、交戦当事国の政府系機関の発表を引用する際には、情報源の性質・利益相反・独立した検証の困難性について明示的に説明することが放送法第4条第3号（事実の正確な報道）の観点から求められる。

本分析はバージョン2.7-詳細、方法論的原則K5+K13（誘発事象の記録・非対称性の比較検証）に準拠して作成された。分析対象は2025年5月4日放送のNHKニュース（10時）、尺約4分46秒。全引用は原語（日本語）のまま保持。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的背景

政権と野党

現政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）連立政権。2024年10月27日衆院選でLDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席。過半数割れにより少数与党政権として継続。首相は石破茂（2024年10月就任）。

主要野党：立憲民主党（CDP）148議席（大幅増）が最大野党。日本維新の会38議席、国民民主党28議席、日本共産党8議席、れいわ新選組9議席。

左右スペクトル上の政党配置

政党	左右スコア (0-10)	議席数 (衆院)	政権/野党	核心的立場
日本共産党 (JCP)	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発ゼロ、日米安保廃棄
社民党 (SDP)	2.5	1	野党	平和主義、護憲、脱原発
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、MMT経済
立憲民主党 (CDP)	3.5	148	野党	9条改憲反対、再生可能エネルギー、夫婦別姓
公明党 (Komeito)	5.0	24	与党	平和主義、社会福祉、LDP連立
国民民主党 (DPP)	5.5	28	中間	消費税5%、実用的原発活用、穏健防衛

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



自由民主党 (LDP)	7.0	191	与党	憲法改正、防衛費2%、原発再稼働
日本維新の会 (Ishin)	7.0	38	野党	規制緩和、行政改革、親原発
NHK党	7.5	1	野党	反NHK受信料、右派ポピュリズム
参政党	9.0	3	野党	超国家主義、右派ポピュリズム

Pew閾値：4.5未満＝左派、4.5～5.5＝中道、5.5超＝右派

現在の主要対立軸

日本の政治的対立軸は主に四点に集約される。第一に、防衛費増額・反撃能力保有・武器輸出解禁をめぐる安全保障政策の方向性。第二に、原発再稼働と再生可能エネルギー移行のエネルギー政策。第三に、憲法9条改正の是非。第四に、経済格差是正と成長戦略の優先順位をめぐる経済政策の対立。2024年衆院選でLDPが過半数割れしたことで、これらの争点における政権の求心力は低下している。

メディア環境

NHKは放送法に基づく公共放送機関であり、放送法第4条により政治的公平・報道の正確性・多角的論点提示が義務付けられている。経営委員会の12名は首相が任命（国会同意）するため、特に安倍政権期（2012～2020年）以降「政権寄り」との批判が学术界・市民社会から継続的に提起されている。RSF報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）にとどまり、記者クラブ制度が情報アクセスの構造的偏在を生んでいる。

第0ステップ — 放送情報とテーマの枠組み

放送データ

- タイトル：NHKニュース（10時のNHKニュース）
- 日付（ファイル名より推定）：2025年5月4日（放送内容「今日9日が戦勝記念日」「3日夜から4日朝」の記述より）
- 推定尺：約4分46秒（00:00:00～00:04:46）
- キャスター/レポーター：「南山」（00:04:42「この時間のニュース南山がお伝えしました」）
- 登場人物：

人物	役職	政党/所属	政治的スペクトル
小泉防衛大臣	防衛大臣	LDP（自民党）	右派（7.0）
シャフリー国防相	インドネシア国防相	インドネシア政府	中道（外国政府）
モスクワ近隣住民（男性）	一般市民	無所属	該当なし
花巻市の父親	一般市民	無所属	該当なし

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



主要テーマ

本放送は、日本の防衛装備輸出解禁を受けたインドネシアとの防衛協力強化、ウクライナによるモスクワへの無人機攻撃、および岩手県花巻市の伝統行事「泣き相撲」の三項目で構成される約5分間のニュース速報である。

世界観的文脈

日本は2022年の安全保障三文書改定以降、専守防衛原則の実質的転換を進めており、反撃能力（いわゆる敵基地攻撃能力）の保有と防衛装備の輸出解禁（五類型）はその中核をなす。インドネシアとの防衛協力強化はASEAN諸国との安全保障ネットワーク構築の一環であり、中国の海洋進出への対抗という地政学的文脈に位置づけられる。ウクライナ紛争は長期化しており、ロシア国内への攻撃拡大は停戦交渉の行方に影響する。これらの安全保障議題は、日本国内で憲法解釈・平和主義・軍事化リスクをめぐる深刻な政治的対立を生んでいる。

均衡ある放送に必要な視点（世界知識に基づく独立的列举）

- * 防衛装備輸出解禁に対する野党（CDP・JCP・れいわ等）の批判的立場
- * 憲法9条・専守防衛原則との整合性に関する憲法学者の見解
- * インドネシア国内の市民社会・人権団体の反応（武器輸入国側の視点）
- * 防衛産業・軍需企業の利益構造に関する経済的分析
- * ASEAN諸国の安全保障観と日本の軍事的プレゼンス拡大への懸念
- * ウクライナ側の攻撃意図・戦略的背景に関する説明
- * ロシア市民の戦争認識と国内世論に関する独立的分析
- * 日本の武器輸出が地域紛争に与えるリスクに関する専門家見解
- * 防衛費増額・装備輸出が日本の財政・社会保障に与える影響
- * 国際人道法・武器輸出規制の国際基準との整合性

各視点の取り扱い確認

[A] 未取り扱い

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：野党の批判的立場は一切言及されず、政府方針が一方向的に肯定的文脈で報道された。

[B] 未取り扱い

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：憲法学的観点からの検討は完全に欠落している。

[C] 未取り扱い

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：武器輸入国側（インドネシア）の市民社会・人権的視点は皆無。

[D] 未取り扱い

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：防衛産業の利益構造への言及なし。

[E] 未取り扱い

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：ASEAN諸国の多様な安全保障観は反映されていない。

[F] 部分的に取り扱い

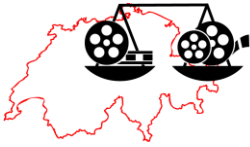
タイムスタンプ：02:00 — 引用：「ウクライナの無人機による攻撃があり」 — 評価：攻撃の事実は報告されたが、ウクライナ側の戦略的意図・背景説明は欠落。

[G] 部分的に取り扱い

タイムスタンプ：02:49 — 引用：「ウクライナからの攻撃を感じていませんが、ヨーロッパなどとさらなる事態に発展するのではないかと不安はあります」 — 評価：一市民の発言のみで、独立的な世論分析は不在。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



[H] 未取り扱い

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：武器輸出の地域紛争リスクに関する専門家見解は完全に欠落。

[I] 未取り扱い

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：財政・社会保障への影響分析なし。

[J] 未取り扱い

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：国際人道法・武器輸出規制の国際基準との照合なし。

完全性スコア：2/10

理由：10の必要視点のうち完全に取り扱われたものはゼロ、部分的取り扱いが2点（[F][G]）のみ。防衛装備輸出という高度に政治的・憲法的な議題に対し、政府側の発表を一方的に伝えるのみで、批判的・多角的視点が体系的に欠落している。約5分という短尺ニュースの制約を考慮しても、最低限の対立軸提示すら行われていない点は放送法第4条の要請に照らして問題がある。

欠落している声

- 野党議員（CDP・JCP・れいわ等）：防衛装備輸出解禁の憲法問題点・平和主義との矛盾を指摘できた
- 憲法学者：専守防衛原則・憲法9条との整合性について法的見解を提供できた
- インドネシアの市民社会・NGO代表：武器輸入国側の民主的統制・人権的懸念を代弁できた
- 安全保障研究者（批判的立場）：日本の軍事的プレゼンス拡大がASEAN地域安定に与えるリスクを分析できた
- 防衛経済学者：防衛費増額・装備輸出が国内財政・社会保障に与える影響を定量的に示せた
- 国際人道法専門家：武器輸出規制の国際基準・ワッセナー協定との整合性を検証できた
- ウクライナ政府代表またはウクライナ側専門家：モスクワ攻撃の戦略的文脈・正当性を説明できた
- 独立系ロシア研究者：ロシア国内世論・プロパガンダ構造を批判的に分析できた

第1ステップ — 15基準：詳細分析

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	7/10	著しい偏り
2	情報源の選定	7/10	著しい偏り
3	時間配分	5/10	顕著な偏り
4	省略（選択的省略）	8/10	著しい偏り
5	数値操作	3/10	軽微な偏り
6	連座による信用失墜（連座制）	1/10	問題なし
7	タイミング	4/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	1/10	問題なし
9	網羅性	8/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	6/10	顕著な偏り
11	言葉の選択と用語	5/10	顕著な偏り
12	司会者の行動	2/10	問題なし
13	質問の非対称性	2/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	2/10	問題なし
15	アジェンダ設定	6/10	顕著な偏り
52	7-詳細 放送法第4条準拠審査	2/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

4.9/10

顕著な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

3.8/10

軽微な不均衡

総合スコア

4.4/10

顕著な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1